

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

倉重ゼミ

基本テーマ	このゼミでの基本テーマは、「コンピュータを用いた意思決定」です。ここでのコンピュータを用いるとは、プログラミングを行ったり、エクセルをちょっと高度に利用してみたりすることです
ゼミ運営方法	・演習ⅠとⅡでは、エクセルを利用したプログラミングやデータ解析、シミュレーションなどを学んでいきます。ゼミ生の習熟具合や希望に応じて、「エクセルを使った鹿児島県めぐり」の作成や「観光地の評価」、機械学習(AIの一部)への取り組みも考えています。また、コンピュータを用いる課題以外にも人前で話すことや思考力を養う課題などがあります。 ・卒業研究では、原則、演習ⅠⅡで学んだことに関係するテーマで卒論を書いてもらいます。 ・課外活動は、学生さんからの要望があれば実施します。
就職指導の方針	就職活動に関しては、「自分のペースで活動したい」、「背中を押してもらいたい」など様々な人がいます。要望があればESの添削や面接練習などを行うことを前提にした上で、「暖かく見守る」、「週一で進捗状況を確認する」など皆さんの希望に応じた距離感で指導します。
卒論の要件	ゼミ運営方法にもある通り、演習ⅠⅡで学んだことと卒論を書いてもらいます(ただし、どうしても他のテーマを希望する場合は要相談)。アプリの作成を卒業研究とすることも可とし、その場合は、仕様書やプログラムの説明を卒業論文と見なします。また、複数名で取り組むことも可とします。
学生への要望	・少なくとも現段階でプログラミングなどコンピュータを扱うことに興味があること(経験はまったく問いません)。 ・チームでの活動を基本とするので、最低限度の協調性は必要かと思います。 ・後期開講予定の統計学は受講していただけたら幸いです。
その他	このゼミは、以下のような人が向いている気がします。 ・将来、情報関連分野に就職を考えている人はもちろんですが、ワンランク上のエクセル使いを目指す人 ・数字を扱うパズルが好きな人(得意である必要はありません) ・フェルミ推定が楽しそうと思える人 (フェルミ推定については、ネットで調べてみてください。過去の課題例: 県短で1年間に消費されたトイレペーパーのロール数、県短内で1年間に発生した消しカスの重量、県短内での1年間のタイピング数、県短の門を1年間に通過した人数などの推定)

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

宗田ゼミ

基本テーマ	【基本テーマ】 会計学の視点による中小企業の調査・研究 【概要】「鹿児島」の中小企業を考察対象として、ビジネスモデルや会計について学びます。ゼミでは、企業分析、会計情報の作成、利用について学ぶとともに、会計学隣接分野についても学びます。
ゼミ運営方法	<u>演習Ⅰ（2年後期）「鹿児島のすごい企業を発見！」</u> 中小企業に関連する基本書を通読したり、企業の調査・分析手法について学びます。鹿児島の中小企業の中から、特徴のある企業を探してもらいます。 <u>演習Ⅱ（3年前期）「何がすごいのかを探検、観察！」</u> 個人ないしグループ単位で個別の企業を実際に調査分析をしてもらおうと考えています。（1部の現2年生のゼミは3～4名一組で活動中） <u>卒業研究（3年生後期）</u> 演習ⅠおよびⅡにおける学修をもとに成果物（卒業論文を含み様々な形態を認めています）の作成を目指します。 ゼミ運営の基本方針は以下の通りです。 「勉強の方法を学ぶ」、「知識・技術の習得」、「交流と協調」、「よく遊び、よく学ぶ」 なお、任意参加となりますが、税理士事務所、公認会計士事務所、中小企業などを訪問する機会を設けます。
就職指導の方針	どのような進路であっても、可能な限り皆さんのリクエストに応えます。過去のゼミ卒業生は、公務員、金融機関、中小企業、大企業、進学（4年制大学、専門学校等）、起業（飲食店経営）、フリーターと多様です。
卒論の要件	グループもしくは個人で設定したテーマに従って、卒業論文ないし卒業論文同等物を作成していただきます。 字数制限は特にありません。詳細なテーマ等は過去の学生論集を参照してください。
学生への要望	現在の知識や技術ではなく、次のような学生の参加を望んでいます。 ●挨拶をしたり、時間を守ったりするなど、ルールやマナーを守ることができる学生。 ●勉強に限らず、自らの目標もしくは目的に向けて学生生活を送っている学生。 ●サークルや自治会活動、大学イベントなどに積極的にかかわれる学生。 ●ゼミに入った場合、会計関連科目（簿記論、原価計算、会計学総論、財務会計論、会計情報論、管理会計論、税法など）を履修を希望します（強制はしませんが、学生間の共通の学修レベルを維持したいと考えています。）
その他	【担当者自己PR】 3号館3階に研究室があります。ゼミ選択について聞きたい、知りたいことがあれば、随時、来室してください（アポイント不要） 連絡先アドレス：sota * k-kentan.ac.jp （* は@に換えること） 確実に研究室に在室している日程 水曜日：1部5限、2部1限 木曜日：3～5限 2部バドミントンサークル顧問、吹奏楽部顧問

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

竹中ゼミ

基本テーマ

テーマは、「経営学を学び、これらからの働き方を考える」です。
経営学のゼミですので、企業やその活動内容についての理解を深めていきます。同時に、私たちにとって大事な問題である、企業との「働き方」についても考えていきます。「良い企業とはどのような企業なのか」「望ましい働き方とはどのようなものか」などのテーマについて、テキストでの内容を手がかりにして、ゼミで議論を行います。

テキストは「みんなの経営学」(佐々木圭吾著)を候補として考えています。
ゼミのメンバーが決まれば、テーマやテキスト、進め方について改めて考える機会を設けるつもりです。

ゼミ運営方法

大きな流れとしては、以下のようになります。
演習1: テキストを中心として、経営学や企業を考える知識を得る
↓
演習2: ①各自の卒論のテーマを設定し、執筆の準備をはじめる
②引き続きテキストの内容を取り上げる
↓
卒業研究: 卒業論文を仕上げる

ゼミは、基本的には学生が中心になって活動していきます。
ゼミ生同士で考えていく時間を多くしていくつもりです。

ゼミでは、各自のテーマについて問題意識を持って考えていくことが大切です。自分の意見を述べると共に、他の学生からの質問や感想にも耳を傾けることで、様々な問題の理解が深まっていくようなゼミ運営ができることを望んでいます。

なお、ゼミ合宿等の大学外での活動の予定はありません。

就職指導の方針

就職は皆さんにとっての大きなテーマです。できるだけサポートをしていきたいと考えています。これまでは、履歴書作成や志望動機、自己PRなどどのように書けばよいかについて、アドバイスしてきました。また、具体的な求人情報は学生課にありますので、そこの連携も行っていきます。

卒論の要件

卒論の分量については、目安としてA4用紙10枚程度(12000字～15000字程度)が必要です。テーマについては、経営学や、ゼミで取り上げたテーマでなくても構いません。自分で関心があるテーマを見つけ、それについてじっくりまとめることができれば大丈夫です。1年生の演習1の終盤からそれぞれと意見交換しながらテーマや内容について考えていく予定です。

学生への要望

ゼミは少人数で運営されるので、一人一人の発言や学生自身の考え方・問題意識が大切です。そのためには、それぞれの人が何を考えているのか、言葉や文字にして他の人に伝えていくことが必要になります。また、伝える方法にまだ慣れていなければ、ゼミなどの機会を活用して練習していくことで、経験値が上がっていきます。このようなことを理解してくれる学生を望みます。

その他

ゼミについて何か質問がある場合は、takenaka@k-kentan.ac.jpまでメールで連絡するか、授業後や研究室などへ直接質問に来てくれれば対応します。

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

福田ゼミ

基本テーマ	毎日、私たちは様々な外国に関するニュースを目にして、耳にします。こうした国際社会で起きる様々な出来事が、鹿児島で暮らす私たちの生活にどのような影響を及ぼすのかを考えたいと思います。グローバルな視点をもって、ローカルで活動できるようになることを目指します。
ゼミ運営方法	1年半のゼミの流れとしては、以下のようなものを想定しています。 【演習1】社会にある色々な意見に接してみる。ある問題に対しても、多様な意見があることを知る。そして自分の意見を他人に伝えられるようになる。 主に、新聞の社説の読み比べをしたり、読み比べについてのレポートを作成したりします。 ↓ 【演習2】全員で読む本を決めて、その本について順番に報告してもらいます。卒論執筆に向けて、論文の書き方などについても学んでいきます。 ↓ 【卒業研究】各自のテーマで卒業論文を執筆する。自分の卒論については、他の人からの意見を参考にして、他の人の卒論については意見を述べられるように練習します。 希望があれば、課外活動なども行いたいと思っています（任意参加で、成績には一切関係はありません）。
就職指導の方針	要望があれば、履歴書やエントリーシートの添削等、面接の練習などを行います。それよりも、小手先の面接技術などを習得するよりも、学生時代にしかできない体験（例えば海外ボランティアや旅行など）、他の人と違った経験をすることを勧めます。
卒論の要件	「基本テーマ」に関するテーマについての卒業論文を執筆してもらいます。分量は、1万2千～1万5千字程度。
学生への要望	「自分たちのゼミは、自分たちで運営していく」「楽しいこと、滅多にやれないことをゼミのみんなでやって、楽しみたい」という感じの学生をお待ちしています。
その他	何か質問があれば、遠慮なくメールでfukuda@k-kentan.ac.jpまで問い合わせてください。直接研究室に来てもらっても構いませんが、事前にメールで連絡をもらえると確実です。

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

前田ゼミ

基本テーマ	【基本テーマ】 持続可能な地域づくりを考える 【概要】 日本全体の人口減少や大都市圏への人口移動等により、地方圏の多くは存続の危機に直面しています。これからは、そこに住む人々自身が地域のあるべき姿を意識しながら、地域づくりを考えていくことが重要です。このゼミでは「持続可能な地域づくり」を基本テーマとして、先進地の事例や理論を参考にしながら、各自の発想によって持続可能なより良い地域づくりの方策を考えます。
ゼミ運営方法	【演習1】 文献調査や文献輪読を通して地域づくりの基礎知識について学びます。学期の終わりには、成果をまとめたレポートを提出してもらいます。 【演習2】 地域づくりに関する文献調査および事例調査を行います。ゼミでは、それぞれの調査結果を報告し、各自が卒論のテーマとしたい課題を見つけていきます。学期の終わりには、成果をまとめたレポートを提出してもらいます。 【卒業研究】 各自が卒論のテーマを決めて研究を進めます。ゼミでは、各自のテーマに基づき研究内容や進捗状況などを報告します。 【ゼミ活動(任意)】 県内各地でフィールドワーク(まち歩きや地域の方への聞き取り調査、地場製品の販売体験など)を実施します。 これらの活動への参加は任意ですが、参加する意欲のある学生を歓迎します(成績には影響しません)。
就職指導の方針	どのような進路を希望する場合でも相談に乗ります。 可能なかぎりに必要なサポートも行いますので相談してください。
卒論の要件	基本テーマに沿って論文を書いてもらいます。 字数制限は設定しません。
学生への要望	地域づくりに関心を持っていること。 特別な理由が無い限り、遅刻・欠席をしないこと。 協調性をもつこと。 ゼミでの意見交換や議論に積極的に参加すること。
その他	質問があれば、いつでも研究室(3号館2階)に来てください。 直接研究室に来てもらっても構いませんが、不在のこともあるので、事前にメールで連絡をもらえると確実です(連絡先:maeda@k-kentan.ac.jp)。 前田ゼミ所属の先輩(第一部2年生)の話が聞きたい場合は調整しますので相談してください。

2025年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

山口ゼミ	
基本テーマ	〈「当たり前」を疑う〉 「自分の頭で考えて行動する」ということを大学生生活の目標としている人もいますが、逆に言えばそれは訓練しないとできない難しいことです。 まず第一に、いろいろな人や出来事との出会いによって、考えるべき問題を見つければいけません。これには行動力が必要です。 第二に、「考え方」も重要です。無意識的、直感的な判断と、意味というものをじっくり考えての判断がどう違い、どうしたら必要な時に後者の判断ができるのか、ということ学ぶ必要があります。 このゼミでは、「意味」を考える力をつけるために、〈「当たり前」を疑う〉というテーマを掲げます。 「疑う」とは「否定する」ということではありません。「当たり前」「常識」とされている事柄は、人々が意味を考えずにただ従っているということが多いため、あえてそうした事柄の意味を考えてみましょうということです。 卒論では興味のある事柄から何か社会問題を取り上げ、常識的な解決策を徹底的に調べてまとめ、意味を考えてもらいます。
ゼミ運営方法	演習1では、物事を認識し、理解するとはどういうことなのかを学びます。手段として、共通文献の輪読と賛否両論ある社会問題についての討論を行います。 演習2では、「社会」という独特の対象への認識を深めるために社会科学の理論に関する文献輪読を行い、並行して各自のテーマとしたい問題に基づいてゼミ参加者による研究報告を行います。 卒業研究では、各自がテーマを決めて研究を進め、研究報告を中心としたゼミ運営を行ないます。 演習1および演習2の最後には、それぞれ半年の成果をまとめたレポートを提出してもらいます。 文献輪読の対象文献は今のところ以下。その他はゼミ生の興味関心に合わせて選定します。 服部史、小島治幸、北神慎司(2015)『基礎から学ぶ認知心理学』有斐閣ストゥディア ダニエル・カーネマン(2014)『ファスト&スロー あなたの意思はどのように決まるか?』ハヤカワノンフィクション文庫 荻谷剛彦(2002)『知的複眼思考法』講談社+α文庫 筒井淳也(2020)『社会を知るためには』ちくまプリマー新書 上記はデフォルトの進め方ですが、ゼミ生の話し合いによって微修正、大修正が出て問題ありません。ゼミはゼミ生みんなのものです。 その他課外活動として合宿(最初期をイメージ。お互いの交流を深め、話し合いをやすくする企画)、調査、研修旅行(福岡、名古屋、東京が候補)、懇親会等を行います(全て実施とは限りませんし、実施しても強制参加ではなく、任意参加です)。 メンバーが行動力の面で成長するためにも、たくさん話し合いが必要な「めんどくさい」ゼミを目指します。
就職指導の方針	就職・進学いずれにしても、基本は自分自身で進めてもらいます。 その中でわからないことがあれば相談に乗ります。可能なかぎりに必要な支援も行いますので、相談は遠慮せずに行ってください。 支援の中身としては、編入試験の勉強会のチューター、志望動機の添削や自己分析の手伝いなどを過去行ってきました。
卒論の要件	テーマは指導の中で相談して決めていきます。字数はおおよそ12000字以上とします(図表込み)。
学生への要望	・無断欠席をしないようにしてください。 ・しっかり勉強に取り組むことを基本としていますが、とりわけ就活の取り組みを含め、個々人の状況には配慮します。負担が大きいなどの悩みがあれば遠慮なく相談してください。 ・ゼミの課外活動については、実施される場合基本的に参加を推奨しますが、参加不参加の判断は任意であり成績には影響しません。また、金銭面その他不安がある場合は相談してください。 ・自分の心身の健康を大切に。 ・その上で、ゼミでやってみたいことを恥ずかしがらずに表明して、責任者として実行していくという経験もぜひお勧めします。
その他	面談の希望があればメール(y-yamaguchi@k-kentan.ac.jp)または直接予約をとってください。 面談は研究室(3号館2階)で行います。